

# 24年度 入学式を挙



東京千代田区富士見  
日本歯科大学新聞会  
発行兼人 中原 泉  
編集人 1部10円  
発行日 偶数月末日  
定価 (〒951-8580)  
編集室 新潟市中央区浜浦町1-8  
☎025(267)1500



本学のシンボルマーク

## 晴れの新入生たち

平成二十四年度の日本歯科大学の入学式は四月初旬、生命歯学部と新潟生命歯学部で挙行された。あわせて大学院の両研究科、東京短大、新潟短大の入学式が行われた。

**生命歯学部**  
生命歯学部の部は、四月十一日に生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。  
一庶務部長より開式が宣言され、生命歯学部入学生、編入学生、ならびに大学院生命歯学研究科入学生の点呼が行われた。  
中原泉学長、佐藤田鶴子大学院生命歯学研究科



新入生に訓辞を述べる中原学長(4月11日・東京)



入学生点呼をうけて起立する(4月4日・新潟)

長が訓辞を述べた(要旨二面)。生命歯学部入学生を代表して横山美世子さん、大学院入学生を代表して石田祥己君が宣誓し、午後一時四十分閉式した。  
長が訓辞を述べた(要旨二面)。生命歯学部入学生を代表して横山美世子さん、大学院入学生を代表して石田祥己君が宣誓し、午後一時四十分閉式した。

新入生に訓辞を述べる中原学長(4月11日・東京)  
生命歯学部の部は、四月十一日に生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。あわせて大学院の両研究科、東京短大、新潟短大の入学式が行われた。

新入生に訓辞を述べる中原学長(4月11日・東京)  
生命歯学部の部は、四月十一日に生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。あわせて大学院の両研究科、東京短大、新潟短大の入学式が行われた。

新入生に訓辞を述べる中原学長(4月11日・東京)  
生命歯学部の部は、四月十一日に生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。あわせて大学院の両研究科、東京短大、新潟短大の入学式が行われた。

新入生に訓辞を述べる中原学長(4月11日・東京)  
生命歯学部の部は、四月十一日に生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。あわせて大学院の両研究科、東京短大、新潟短大の入学式が行われた。

新入生に訓辞を述べる中原学長(4月11日・東京)  
生命歯学部の部は、四月十一日に生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。あわせて大学院の両研究科、東京短大、新潟短大の入学式が行われた。

新入生に訓辞を述べる中原学長(4月11日・東京)  
生命歯学部の部は、四月十一日に生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。あわせて大学院の両研究科、東京短大、新潟短大の入学式が行われた。

- ### 平成23年度日本歯科大学 ベスト・レクチャー賞
- 1. 総合基礎歯学(4年後期) 歯科理工学講座 宮坂平教授
  - 2. 医療管理学(1年前期) 附属病院口腔外科 小林隆太郎教授
  - 3. 歯科硬組織修復学(4年前期) 接着歯科学講座 奈良陽一郎教授
- ### 旗手名誉教授逝去
- 本院名誉教授の旗手敏(はたて・さとし)先生は、去る六月六日に逝去された。享年八十四歳。旗手名誉教授は昭和二十四年本学卒業(第三十九回卒)。新潟歯学部の歯科補綴学第一講座の主任教授を務め、附属病院長、新潟短期大学学長等を歴任した。



中原学長のタイ訪問の話に聞き入る訪問学生たち



マヒドン大学からの訪問学生(右6名)と留学生(左2名)

### 20回目の訪問学生 学生使節6名

本学の姉妹校のタイのマヒドン大学から、男子一名、女子五名の学生が、二十年目を数え、本学を訪れた。昨年(平成23年)は東日本大震災の影響により中止となったが、同大学からの訪問学生は今年で二十回目を数え、本学学生らと交流の輪を広げた。四月二日に新潟生命歯学部を訪れた一行は、入学式に列席し、学生親善使節として紹介された。両学部では、学内の諸施設、病院を見学し、わが国の最先端の歯科医療実習を体験した。



# 中原泉学長 訓辞 (要旨)

先月末に卒業した諸君は、日本歯科大学第一〇一回卒業生にあたる。本学は通し番号で卒業回数を数えているので、新入生諸君は六年の後に、日本歯科大学第一〇七回卒業生として卒業していく。入学式で卒業の話をするのは、いささか早すぎると思うかもしれないが、卒業の時点における諸君の到達目標を明示しておく必要があるからだ。諸君は六年の教育課程を修了して卒業すると学士（歯学）の学位を取得する。しかし、卒業してすぐに病院に勤めて患者さんの診療を行うことはできない。それは学士（歯学）イコール歯科医師ではないからだ。

歯学部卒業者は、歯科医師国家試験受験資格者という立場にある。卒業の年の二月に行われる歯科医師国家試験を受験し、合格して歯科医師の資格を取得する。そこで初めて病院や診療所に勤めて患者さんの診療を行うことができる。本学を卒業することは一つのプロセスであり、めざす到達目標は歯科医師のライセンスを得ることである。中学や高校ではよく、若者には無限の可能性があると説くが、無限の可能性とはどういう意味だろうか。こんな曖昧模棱とした言葉が、若者たちの励ましや指針になるのだろうか。私は人間の可能性は有限であると思っ



学長訓辞「実現可能な夢、新入生諸君の到達目標は歯科医師のライセンスを得ることだ」

性には限りがあると思っ

いる。若者たちに夢を与えることが善であるという論理があり、夢を持つばそれは叶えられる、というまやかしがあると私は思う。大きな夢を持たせ力を引き出すという善意は十分理解できるが、このフレーズを風刺した「夢を持って夢を持ったが夢だった」という笑えない川柳がある。

私ならば、現実的で興奮するまでのほんの僅かな一時期、もはや過去のことでしかない。

新入生諸君はみな同じスタートラインにたつて

いる。歯科医師への道は努力しないでは得られるほどたやすくはない。歯学部に入學したから、ベルトコンベアに乗ったように歯科医師のライセンスにたどり着く、本学に入學したことで歯科医師へのパスポートをゲットした

新入生は今日から大学の教育がはじまるが、小中高と大学における教育には大きな違いがあることを是非とも認識してほしい。

まず第一に医療系の大学では医療を行うための専門知識を新しく学ばなければならぬ。これはかなりの時間と努力を必要とする。高校時代までは一方通行で、先生が言った教科書に載っていることを履修すれば済んだかもしれない。大学教育では専門知識に加え、自分たちからさらに教えるを広げるよう努力する自己的な学習が求められる。

人間誰でも夢を持っていたら、夢は人に言われて持つものではないのだ。要するに、夢は人から与えられるものではない。夢は叶えられたら、若しかならぬが、日本歯科大学新入生は、夢が叶えられたら、第二、第三志望で滑り止めた人もあるだろう。しかし本学が第一志望、第二志望であろうと、それは

水木しげるは堂々と「普通の人は怠け者です、水木さんは怠け者のふりをして人一倍働いているのです。人は水木さんに騙されて働かなくてもいい」と思っているのです」とツイファイと楽しそうに笑っていた。水木しげる

は人が遊んでいる間、寝ている間に人の三倍の仕事をする。人の三倍働いている。

また先日、テレビで野球の野村克也元監督が、お孫さんと散歩しながら、一生懸命、「坊や、人生は努力だよ。コツコツと努力しかないよ」と説き聞かせていた。

以上、私の話をどのよう

に受け止めるかは新入生諸君の判断であり、その結果は諸君の自己責任であると念を押して、学長の訓辞とする。

(4月4・11日)

## 新潟生命歯学部 小倉英夫歯学部長 訓辞

新入生の諸君は今日から大学の教育がはじまるが、小中高と大学における教育には大きな違いがあることを是非とも認識してほしい。

まず第一に医療系の大学では医療を行うための専門知識を新しく学ばなければならぬ。これはかなりの時間と努力を必要とする。高校時代までは一方通行で、先生が言った教科書に載っていることを履修すれば済んだかもしれない。大学教育では専門知識に加え、自分たちからさらに教えるを広げるよう努力する自己的な学習が求められる。

人間誰でも夢を持っていたら、夢は人に言われて持つものではないのだ。要するに、夢は人から与えられるものではない。夢は叶えられたら、若しかならぬが、日本歯科大学新入生は、夢が叶えられたら、第二、第三志望で滑り止めた人もあるだろう。しかし本学が第一志望、第二志望であろうと、それは

## 大学院生命歯学研究科 佐藤田鶴子科長 訓辞

歯科界に限らず日本の大学院修了者に対し、社会から指摘されている問題点がある。学問が細分化したために視野が狭くなり、各々が立派な研究を完成しても、実際には社会で役に立たないことが多いと言われている。四年後の獲得目標である博士号が砂上の楼閣にならず、社会に生きたものとなるよう予測して研究を始めていただきたい。

口腔という小さな器官の中の疾患や病態は、悪性腫瘍はもちろん、その他の疾患も根絶していかない。一般的な齲蝕や歯周病でさえ、過去の疾患ではない。患者さんや人類の幸福のために、疾患の根絶に挑戦してくれることを望む。直接的治療法



力強く宣誓する新入生代表(上・東京、下・新潟)



き解決法は、研究からちよと離れ、五〇メートルほど北方向にある古い街、神楽坂に向かっての井戸がみつかるはずだ。手押しポンプの井戸は長いこと使わないと、空気が入り込み、ポンプのレバーを上下に動かしても水は出てこない。

そのとき必要なのは誘い水で、ポンプの上から水を流し込み、レバーハドルを動かしている

と、バルブの中の空気が

自分自身を振り返ってみると、最も充実したと思われるのは、大学院時代の四年間だった。大学院生は学部学生とは大きく異なっている。学部では確立している内容の学問を学び、国家試験をはじめ各種の試験に正解があった。歯科医師臨床研修においてもこの方法が正解だということ

を学んだと思う。しかしこれからの四年

間、論文の書き方も自然に身につけてくるはずだ。大学院生時代には自分の成長を日々実感できると思うし、そうなるように懸命に努力してほしい。

ゴールにたどり着く前には大なり小なり困難が待ち受けているのが常だが、困難を乗り越えるための適切なアドバイスを指導教授はしてくるだろう。しかし困難を突破するのはあくまで諸君自身だ。努力して力をつけた時の大きな喜びと達成感を味わっていただきたい。その時には指導教授をはじめ、研究および論文作成に協力してくれた方々に対する感謝の念が自然と湧いてくるし、以降の人生にとって有益な人間関係が築かれることだろう。諸君の学位論文が本学歯学学会発行のJournalなどインパクトファクターが付与された一流の国際誌に掲載されるような研究成果をあげることを期待する。

(4月4日)

## 大学院新潟生命歯学研究科 宮川行男科長 訓辞

大学院生は学部学生とは大きく異なっている。学部では確立している内容の学問を学び、国家試験をはじめ各種の試験に正解があった。歯科医師臨床研修においてもこの方法が正解だということ

を学んだと思う。しかしこれからの四年

間、論文の書き方も自然に身につけてくるはずだ。大学院生時代には自分の成長を日々実感できると思うし、そうなるように懸命に努力してほしい。

ゴールにたどり着く前には大なり小なり困難が待ち受けているのが常だが、困難を乗り越えるための適切なアドバイスを指導教授はしてくるだろう。しかし困難を突破するのはあくまで諸君自身だ。努力して力をつけた時の大きな喜びと達成感を味わっていただきたい。その時には指導教授をはじめ、研究および論文作成に協力してくれた方々に対する感謝の念が自然と湧いてくるし、以降の人生にとって有益な人間関係が築かれることだろう。諸君の学位論文が本学歯学学会発行のJournalなどインパクトファクターが付与された一流の国際誌に掲載されるような研究成果をあげることを期待する。

(4月4日)



# 東京短期大学 小口春久学長 訓辞

新入生諸君は、これから各自が選んだ学科や専攻科で勉強することになる。本学に入学したことは、みなさんのこれまでの努力によるものであるが、同時にご家族をはじめ周囲のかたがたの深い理解と温かい援助があったこと、改めて心しておかねばならない。

本学は単に専門領域の知識や技術を習得し、資格を得る教育だけではなく、心豊かな教養人を育てるといふ高い教育目標を掲げている。そのため勉学は専門領域に限定せず、できるだけ幅広い分野にも関心をもち、また他人の言葉にも謙虚に耳を傾け、多くのよき友と師の出会いを大切にしたい。

学生会、クラブ活動、ボランティア活動などにも積極的に参加し、心身を鍛え、知性を高め、感性を豊かにしていただきたい。加えてグローバル化社会を迎え、一人ひとりが世界の人々と共存できるという高い教育目標を掲げている。そのため勉学は専門領域に限定せず、できるだけ幅広い分野にも関心をもち、また他人の言葉にも謙虚に耳を傾け、多くのよき友と師の出会いを大切にしたい。

①教養科目を学んで教養を身に付ける、  
②知的活動や社会生活で必要となるコミュニケーション・スキルや問題解決能力などの技能を高める、  
③他人を理解し、譲り合って行動し、国民として社会的責任を果たすための態度と対応を養う、  
④創造的思考力を培う、ことである。



新入生に訓辞を述べる小口東京短大学長



入学にあたり代表から宣誓書が手渡される

この創造的思考力こそが閉塞感を打破し、輝かしい未来を作り上げるために、現在の日本の社会が求めているものだ。それを身に付けるためには、教えてもらうという受動的な態度から、自らが学ぶという積極的な態度にかえていくことが大切である。

本学の建学の精神は「自主独立」であり、受講に際しては、なぜそうなのかと常に疑問に思いつて自分で考え、自分で答を出す、自己開発型の方法を身に付けることが重要である。丸暗記をするのが勉強ではない。本学では基礎実習、臨床実習、フィールドワーク、ワークショップなどの実践的で多彩なカリキュラムを用意し、卒業後に医療人として真に役立つ人材を育成するための教育を積極的に行っている。

時代の禅僧の道元が言った、「一切に生きる」がある。切というのは大切の切で、一瞬一瞬を大切に一生懸命、生きる、今日このときに何をすべきか、どう生きていけばよいかを考えて実践する、後悔しないように生きていくということだ。本学のキャッチフレーズは、笑顔のキャンパスライフであり、悲しいことがあつたからといって、笑顔忘れてはいけぬ。医療人にとって笑顔は極めて大切である。そういう人ばかりになったら、世の中はどんなに素晴らしいことだろう。

人生は無常で、なかなか思い通りにはいかなる。だから悩む。自分がいる場所で笑顔で一杯生きてほしい。そうすれば必ず皆さんの夢は叶うだろう。学生時代、それは人生の中でも一番楽しいとき、心身ともに成長する時期でもある。人生に花を咲かせることができる絶好の時期でもある。個性豊かな潤いのあつたからといって、笑顔顔を忘れてはいけぬ。医療人にとって笑顔は極めて大切である。そういう人ばかりになったら、世の中はどんなに素晴らしいことだろう。

人生は無常で、なかなか思い通りにはいかなる。だから悩む。自分がいる場所で笑顔で一杯生きてほしい。そうすれば必ず皆さんの夢は叶うだろう。学生時代、それは人生の中でも一番楽しいとき、心身ともに成長する時期でもある。人生に花を咲かせることができる絶好の時期でもある。個性豊かな潤いのあつたからといって、笑顔顔を忘れてはいけぬ。医療人にとって笑顔は極めて大切である。そういう人ばかりになったら、世の中はどんなに素晴らしいことだろう。

人生は無常で、なかなか思い通りにはいかなる。だから悩む。自分がいる場所で笑顔で一杯生きてほしい。そうすれば必ず皆さんの夢は叶うだろう。学生時代、それは人生の中でも一番楽しいとき、心身ともに成長する時期でもある。人生に花を咲かせることができる絶好の時期でもある。個性豊かな潤いのあつたからといって、笑顔顔を忘れてはいけぬ。医療人にとって笑顔は極めて大切である。そういう人ばかりになったら、世の中はどんなに素晴らしいことだろう。

人生は無常で、なかなか思い通りにはいかなる。だから悩む。自分がいる場所で笑顔で一杯生きてほしい。そうすれば必ず皆さんの夢は叶うだろう。学生時代、それは人生の中でも一番楽しいとき、心身ともに成長する時期でもある。人生に花を咲かせることができる絶好の時期でもある。個性豊かな潤いのあつたからといって、笑顔顔を忘れてはいけぬ。医療人にとって笑顔は極めて大切である。そういう人ばかりになったら、世の中はどんなに素晴らしいことだろう。

人生は無常で、なかなか思い通りにはいかなる。だから悩む。自分がいる場所で笑顔で一杯生きてほしい。そうすれば必ず皆さんの夢は叶うだろう。学生時代、それは人生の中でも一番楽しいとき、心身ともに成長する時期でもある。人生に花を咲かせることができる絶好の時期でもある。個性豊かな潤いのあつたからといって、笑顔顔を忘れてはいけぬ。医療人にとって笑顔は極めて大切である。そういう人ばかりになったら、世の中はどんなに素晴らしいことだろう。

# 新潟短期大学 柴崎浩一学長 訓辞

歯科衛生士になるために、希望に胸を膨らませながら入学されたみなさんにとって、本学における今日の三年間の生活は、自分で決めた人生の最初の第一歩である。三年後の歯科衛生士国家試験合格をめざし、これまで以上に厳しい勉学が要求される。

多くの患者さんと関わりあひながら、思いやりのある人間味あふれる医療人としての基本的な態度を学ばなければならぬ。患者さんの立場に立つて、小さな訴えにも耳を傾け、適切な歯科処置や種々のアドバイスが行えるようになるまでには時間と努力が必要だ。患者さんから信

多くの患者さんと関わりあひながら、思いやりのある人間味あふれる医療人としての基本的な態度を学ばなければならぬ。患者さんの立場に立つて、小さな訴えにも耳を傾け、適切な歯科処置や種々のアドバイスが行えるようになるまでには時間と努力が必要だ。患者さんから信

多くの患者さんと関わりあひながら、思いやりのある人間味あふれる医療人としての基本的な態度を学ばなければならぬ。患者さんの立場に立つて、小さな訴えにも耳を傾け、適切な歯科処置や種々のアドバイスが行えるようになるまでには時間と努力が必要だ。患者さんから信

多くの患者さんと関わりあひながら、思いやりのある人間味あふれる医療人としての基本的な態度を学ばなければならぬ。患者さんの立場に立つて、小さな訴えにも耳を傾け、適切な歯科処置や種々のアドバイスが行えるようになるまでには時間と努力が必要だ。患者さんから信

多くの患者さんと関わりあひながら、思いやりのある人間味あふれる医療人としての基本的な態度を学ばなければならぬ。患者さんの立場に立つて、小さな訴えにも耳を傾け、適切な歯科処置や種々のアドバイスが行えるようになるまでには時間と努力が必要だ。患者さんから信

多くの患者さんと関わりあひながら、思いやりのある人間味あふれる医療人としての基本的な態度を学ばなければならぬ。患者さんの立場に立つて、小さな訴えにも耳を傾け、適切な歯科処置や種々のアドバイスが行えるようになるまでには時間と努力が必要だ。患者さんから信

多くの患者さんと関わりあひながら、思いやりのある人間味あふれる医療人としての基本的な態度を学ばなければならぬ。患者さんの立場に立つて、小さな訴えにも耳を傾け、適切な歯科処置や種々のアドバイスが行えるようになるまでには時間と努力が必要だ。患者さんから信

多くの患者さんと関わりあひながら、思いやりのある人間味あふれる医療人としての基本的な態度を学ばなければならぬ。患者さんの立場に立つて、小さな訴えにも耳を傾け、適切な歯科処置や種々のアドバイスが行えるようになるまでには時間と努力が必要だ。患者さんから信



医療職の心構えを説く柴崎新潟短大学長



これから3年間の勉学を誓う新入生代表

人生は無常で、なかなか思い通りにはいかなる。だから悩む。自分がいる場所で笑顔で一杯生きてほしい。そうすれば必ず皆さんの夢は叶うだろう。学生時代、それは人生の中でも一番楽しいとき、心身ともに成長する時期でもある。人生に花を咲かせることができる絶好の時期でもある。個性豊かな潤いのあつたからといって、笑顔顔を忘れてはいけぬ。医療人にとって笑顔は極めて大切である。そういう人ばかりになったら、世の中はどんなに素晴らしいことだろう。

人生は無常で、なかなか思い通りにはいかなる。だから悩む。自分がいる場所で笑顔で一杯生きてほしい。そうすれば必ず皆さんの夢は叶うだろう。学生時代、それは人生の中でも一番楽しいとき、心身ともに成長する時期でもある。人生に花を咲かせることができる絶好の時期でもある。個性豊かな潤いのあつたからといって、笑顔顔を忘れてはいけぬ。医療人にとって笑顔は極めて大切である。そういう人ばかりになったら、世の中はどんなに素晴らしいことだろう。

人生は無常で、なかなか思い通りにはいかなる。だから悩む。自分がいる場所で笑顔で一杯生きてほしい。そうすれば必ず皆さんの夢は叶うだろう。学生時代、それは人生の中でも一番楽しいとき、心身ともに成長する時期でもある。人生に花を咲かせることができる絶好の時期でもある。個性豊かな潤いのあつたからといって、笑顔顔を忘れてはいけぬ。医療人にとって笑顔は極めて大切である。そういう人ばかりになったら、世の中はどんなに素晴らしいことだろう。

人生は無常で、なかなか思い通りにはいかなる。だから悩む。自分がいる場所で笑顔で一杯生きてほしい。そうすれば必ず皆さんの夢は叶うだろう。学生時代、それは人生の中でも一番楽しいとき、心身ともに成長する時期でもある。人生に花を咲かせることができる絶好の時期でもある。個性豊かな潤いのあつたからといって、笑顔顔を忘れてはいけぬ。医療人にとって笑顔は極めて大切である。そういう人ばかりになったら、世の中はどんなに素晴らしいことだろう。

人生は無常で、なかなか思い通りにはいかなる。だから悩む。自分がいる場所で笑顔で一杯生きてほしい。そうすれば必ず皆さんの夢は叶うだろう。学生時代、それは人生の中でも一番楽しいとき、心身ともに成長する時期でもある。人生に花を咲かせることができる絶好の時期でもある。個性豊かな潤いのあつたからといって、笑顔顔を忘れてはいけぬ。医療人にとって笑顔は極めて大切である。そういう人ばかりになったら、世の中はどんなに素晴らしいことだろう。

人生は無常で、なかなか思い通りにはいかなる。だから悩む。自分がいる場所で笑顔で一杯生きてほしい。そうすれば必ず皆さんの夢は叶うだろう。学生時代、それは人生の中でも一番楽しいとき、心身ともに成長する時期でもある。人生に花を咲かせることができる絶好の時期でもある。個性豊かな潤いのあつたからといって、笑顔顔を忘れてはいけぬ。医療人にとって笑顔は極めて大切である。そういう人ばかりになったら、世の中はどんなに素晴らしいことだろう。

2012年6月9日(土) 10日(日)

<p>平成二十四年度の日本歯科大学大学院生命歯学研究科入学生十三名、新潟生命歯学研究科入学生十四名は次の通り。</p> <p>(生命歯学研究科)</p> <p>生理学 田宮旬子 衛生学 岡田実緒 理工学 石田祥己 保存学 永島万里子 歯周病学 大久保美佐 口腔外科学 矢島麻衣子 麻酔学 酒井有沙 歯科矯正学 佐是奈織美 臨床硬組織修復学 秋山宗太郎 臨床口腔機能学 河合貴俊 古屋裕康 佐川敬一 張博</p>	<p>平成二十四年度の日本歯科大学生命歯学部、新潟生命歯学部、東京短期大学、新潟短期大学の学長は次の通り(カッコン内数字は学年、下段は副任)。</p> <p>(生命歯学部)</p> <p>(1)今井一志 代田あづさ</p>	<p>大学院入学生</p> <p>咬合形態機能矯正学 嶋本純也 歯周機能治療学 富岡明弘 咬合形態機能矯正学 藤本在子 バトバレンシニエツグ 口腔全身関連治療学 手塚里奈 高橋 悠 田村隆希</p>	<p>学主任</p> <p>平成二十四年度の日本歯科大学生命歯学部、新潟生命歯学部、東京短期大学の学長は次の通り(カッコン内数字は学年、下段は副任)。</p> <p>(生命歯学部)</p> <p>(1)今井一志 代田あづさ</p>	<p>(新潟生命歯学研究科)</p> <p>機能性咬合治療学 片山直人 病態組織機構学 大野淳也 口腔全身機能治療学 富田優也 硬組織機能治療学 有田祥子 川嶋里貴 高田真代 萩原 敬 富岡明弘</p>	<p>(東京短期大学)</p> <p>歯科技工学科 赤間亮一 歯科衛生学 齋藤勝紀 齋藤勝紀</p>	<p>(新潟生命歯学部)</p> <p>(1)鈴木常夫 小野裕明 菅原佳広 阿部祐三 高田正典 水谷太尊 廣安一彦 長谷川優</p>	<p>(2)仲谷 寛 高田清美 (3)古西清司 関野 愉 (4)代居 敬 割田幸恵 (5)小林隆太郎 大澤銀子 (6)砂田勝久 北原和樹</p>
---	---	---	---	---	--	--	--



# 新潟 医の博物館

# 中国口腔医学博物館と姉妹館提携 成都市の四川大学で調印式



姉妹館提携書に署名し交換する中原学長と周院長。後は調印式に立会った左から影山教授、王翰章教授、王大章教授（華西口腔医学院ホームページより転載）

本学の姉妹校、四川大学華西口腔医学院（中国・成都市）は、このほど中国口腔医学博物館を開館した。本学の医の博物館は同館と姉妹館として提携する運びとなり、中原泉館長（本学理事長・学長）が提携書調印のため訪中した。

四月二十六日から三日間、四川省成都市で日中歯科学大会2012（2012中日口腔医学大会）が開催され、本学からは中原泉学長が日本側の副会長、影山幾男教授（新潟・解剖学第一講座）が準備副委員長を務めた。同大会の期間中に姉妹館提携の調印式を行う運びになり、医の博物館からは、中原館長に柳井智恵准教授（附属病院口腔外科）、樋口輝雄主事補（医の博物館事務長）が同行した。

中原館長は四月二十五日の深夜に成都市、二十六日には華西口腔医学院を敬訪問し、歯科学大会のプログラムに参列した。二十七日朝には周学東院長の案内で、二時間余にわたり中国口腔医学博物館を見学した。近くのSofitel Luxury Hotelで調印式を行った。

定刻の午前十一時三十分、調印式の開式が宣せられ、医の博物館の中原泉館長、中国口腔医学博物館の周学東館長（四川大学華西口腔医学院長）が紹介された。両館長は、華西口腔医学院前院長、影山教授らが紹介され、調印式の立会人を務めた。

日中両国約百二十名の参加者が見守る中、中原館長と周館長は、「国際的理解と協力の精神に基づいて、医の博物館と中国口腔医学博物館は、姉妹博物館として提携することに同意し、相互の協力と共同による発展に努める」という条文を記した日本語と中国語を正文・副文とする提携文書にそれぞれ署名し、互いに交換した。ついで医の博物館からは記念品として、歌川国芳の錦絵「きたいな名医難病療治」が贈呈された。

ここで中原館長が挨拶に立ち、「本日の朝、周先生の案内で口腔医学博物館を見学した。二十六年前、一九八六年に姉妹校締結のため貴学を訪問した時、この建物は華西医科大学の本部で、一階の学長応接室で締結文書を交換したと記憶している。貴学は立派な設備と研究施設を有し、学術誌を発行する、口腔医学の分野では中国最大の医学機関である。また口腔医学博物館は、世界でも有数の医学歴史博物館であることを実感した。このような素晴らしい博物館と提携できたことを大きな喜びとしている。将来は、両館共同で企画展などを開催できることを願っている」と述べ、柳井准教授が中国語に翻訳した。

周館長は陳宇教授の通訳により、「新潟の医の博物館を訪れ、先人の業績を保存し、歴史的な資料を研究や教育に活用することの重要性を痛感した。その後、本学にも博物館を開設しようと計画

れる人材に贈られる賞である。東京の同講座から島津貴助教授（東京小児科）の受賞は、二〇〇八年の奨励賞（青柳一中暁子助教）、二〇一〇年の学術賞（小方清和准教授）に続き三人目となる。受賞した研究課題は、『マシライナー含有シラントの齲蝕予防効果の検討』。科学的根拠に基づいた効果的な齲蝕予防プロトコルを確立した。



表彰を受ける島津貴助教授（左）、小方清和先生（中）、荻部洋行教授（右）

【歯鏡】釣りバカ日誌「Ankara 三丁目の夕日」といえば今や国民的映画の定番だ。また「浮浪雲」が進み、貴館の館内設備や展示資料、展示法などを大いに参考にさせていただいた。華西口腔医学院は、一九〇七年に中国で初めての近代歯科学教育機関として創立された。奇しくも日本歯科大学の創立と同じ年であり、そのような縁から姉妹校として協力したい。近い将来には、アジア地域における近代ヨーロッパ医学の受容過程などの調査研究のために、四川大学の歴史学研究者を派遣し、共同研究が行えることを望んでいる」と述べた。

四月二十六日から三日間、四川省成都市で日中歯科学大会2012（2012中日口腔医学大会）が開催され、本学からは中原泉学長が日本側の副会長、影山幾男教授（新潟・解剖学第一講座）が準備副委員長を務めた。同大会の期間中に姉妹館提携の調印式を行う運びになり、医の博物館からは、中原館長に柳井智恵准教授（附属病院口腔外科）、樋口輝雄主事補（医の博物館事務長）が同行した。

定刻の午前十一時三十分、調印式の開式が宣せられ、医の博物館の中原泉館長、中国口腔医学博物館の周学東館長（四川大学華西口腔医学院長）が紹介された。両館長は、華西口腔医学院前院長、影山教授らが紹介され、調印式の立会人を務めた。

日中両国約百二十名の参加者が見守る中、中原館長と周館長は、「国際的理解と協力の精神に基づいて、医の博物館と中国口腔医学博物館は、姉妹博物館として提携することに同意し、相互の協力と共同による発展に努める」という条文を記した日本語と中国語を正文・副文とする提携文書にそれぞれ署名し、互いに交換した。ついで医の博物館からは記念品として、歌川国芳の錦絵「きたいな名医難病療治」が贈呈された。

ここで中原館長が挨拶に立ち、「本日の朝、周先生の案内で口腔医学博物館を見学した。二十六年前、一九八六年に姉妹校締結のため貴学を訪問した時、この建物は華西医科大学の本部で、一階の学長応接室で締結文書を交換したと記憶している。貴学は立派な設備と研究施設を有し、学術誌を発行する、口腔医学の分野では中国最大の医学機関である。また口腔医学博物館は、世界でも有数の医学歴史博物館であることを実感した。このような素晴らしい博物館と提携できたことを大きな喜びとしている。将来は、両館共同で企画展などを開催できることを願っている」と述べ、柳井准教授が中国語に翻訳した。

周館長は陳宇教授の通訳により、「新潟の医の博物館を訪れ、先人の業績を保存し、歴史的な資料を研究や教育に活用することの重要性を痛感した。その後、本学にも博物館を開設しようと計画

れる人材に贈られる賞である。東京の同講座から島津貴助教授（東京小児科）の受賞は、二〇〇八年の奨励賞（青柳一中暁子助教）、二〇一〇年の学術賞（小方清和准教授）に続き三人目となる。受賞した研究課題は、『マシライナー含有シラントの齲蝕予防効果の検討』。科学的根拠に基づいた効果的な齲蝕予防プロトコルを確立した。

## 中国唯一の医学博物館！



中国国内には伝統医学の博物館は数館あるが、近代医学、そして口腔医学に特化した博物館は、成都市の中国口腔医学博物館が初めて唯一。旧華西医科大学の本部を改修した中華様式の建物は三層からなる。

一階は主に古代から二十世紀までの医学・歯科学の歴史資料を展示し、二階は中国伝統医学のコーナー。三階は卒業生名簿と、華西口腔医学院の開学から現在までの軌跡を写真パネルなどにより展示し、また創設時の教室をそのまま再現している。館内のデザインや展示は、周館長が企画・施行した。

中華口腔医学学会（Chinese Stomatological Association）では、シンボルマークに古代ギリシアの医神・アスクレピオスの蛇杖を用いている。現代の中国では、近代ヨーロッパ医学が到達した研究方法、実験精神、医療技術などを基盤として研究と臨床が行われている。（写真は博物館の前景）

## 3館目の姉妹館

本学の「医の博物館」は、一九八九年九月に、アメリカのコネチカット州ハートフォードにあるハートフォード医学歯科学トフォード医学歯科学歴史博物館と姉妹館の提携をした。同館は、麻酔法の発見者、歯科医師H・ウェルズを顕彰した博物館である。

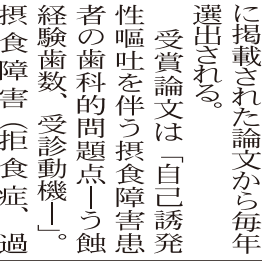
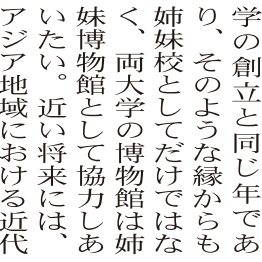
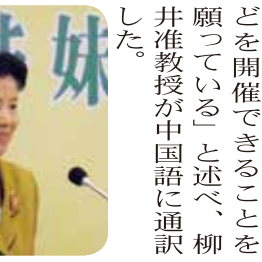
フランスのパリにあるピエール・フォシャール博物館と姉妹館の提携をした。同館は、近代歯科学の祖P・フォシャールを顕彰した博物館である。このたび提携した四川省成都市の中国口腔医学博物館は、医の博物館の三館目の姉妹博物館となる。

周館長は陳宇教授の通訳により、「新潟の医の博物館を訪れ、先人の業績を保存し、歴史的な資料を研究や教育に活用することの重要性を痛感した。その後、本学にも博物館を開設しようと計画

れる人材に贈られる賞である。東京の同講座から島津貴助教授（東京小児科）の受賞は、二〇〇八年の奨励賞（青柳一中暁子助教）、二〇一〇年の学術賞（小方清和准教授）に続き三人目となる。受賞した研究課題は、『マシライナー含有シラントの齲蝕予防効果の検討』。科学的根拠に基づいた効果的な齲蝕予防プロトコルを確立した。

【歯鏡】釣りバカ日誌「Ankara 三丁目の夕日」といえば今や国民的映画の定番だ。また「浮浪雲」が進み、貴館の館内設備や展示資料、展示法などを大いに参考にさせていただいた。華西口腔医学院は、一九〇七年に中国で初めての近代歯科学教育機関として創立された。奇しくも日本歯科大学の創立と同じ年であり、そのような縁から姉妹校として協力したい。近い将来には、アジア地域における近代ヨーロッパ医学の受容過程などの調査研究のために、四川大学の歴史学研究者を派遣し、共同研究が行えることを望んでいる」と述べた。

つづいて懇親の宴に移り、王大章教授（本学名誉博士）の発声により乾杯し、参加者一同で歓談の輪を広げた。



東京・附属病院心療歯科診療センターの大津光寛准教授は、五月二十五日に開催された第五十三回日本心身医学会総会で第十六回石川記念賞を受賞した。同賞は、日本医学会の分会である同学会で、故石川中東京大学教授の遺志を

尊重し、心身医学領域の研究推進を目的に設けられた賞で、機関誌『心身医学』に掲載された論文から毎年選出される。受賞論文は「自己誘発性嘔吐を伴う摂食障害患者の歯科的問題点―う蝕経験歯数、受診動機―」。摂食障害（拒食症、過食症）といった精神疾患の患者、特に自己誘発性嘔吐、過食嘔吐を繰り返す症例の多くは嘔吐による酸蝕やう蝕の多発等、種々の歯科的問題を抱えている。それらの調査・研究は、今まで行われていなかった。大津准教授による研究は高く評価され、今回の受賞となった。